

平成 30 年 1 月 1 日発行

# しちがはま 社協だより

103号



社会福祉  
法人 七ヶ浜町社会福祉協議会  
(ボランティアセンター)

〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153  
TEL(022)349-7781 FAX(022)349-7782  
<http://svc.miagi.jp/dvc/index.php?gid=10209>  
E-mail:sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp

## 法人化 30 周年記念式典並びに 大場久美子氏による記念講演を開催



### もくじ

- 社協法人化 30 周年記念事業
- 会長あいさつ
- 社協法人化 30 周年記念事業について
- 七ヶ浜町生活支援体制整備事業のコーナー
- 温かい善意に感謝いたします
- 町内小学校の防災学習の取り組み
- 宮城県社協主催「福祉教育学習会」
- 身障協会からのお知らせ
- 更生保護女性会をご紹介します
- しちがはまレクリエーション協会の活動紹介
- 向洋中学校職場体験
- 男性が集まりたくなる講座開催報告
- 「はまのおもちゃ病院」プレオープン
- あさひ園まつりの報告
- 6 地区の情報交換会について

去る 9 月 30 日国際村を会場に開催された法人化 30 周年記念事業は、住民参加によって行われてきた様々な事業と、それを支えてくださった住民の皆様への感謝の意を込めて開催させていただきました。

受賞者も含めて総勢 350 名にご参加いただきました。これからも地域住民に寄り添い、頼られる存在になれるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



会長 阿部和夫

## 年頭のごあいさつ

町民の皆様には成年の新年をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より社会福祉協議会の事業推進に対しご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年九月三十日には、大勢のご来賓の皆様をはじめ町内外の皆様のご臨席のもと七ヶ浜国際村を会場に法人化三十周年記念式典を開催することができました。社会福祉事業の推進と地域福祉の向上、東日本大震災後の生活復興支援に貢献されました百四十五名の方々のご功績に対しまして、感謝の意を表することが出来ました。

また、読み上げた大会宣言には会場内全員のご賛同を頂戴することが出来ました。会長に就任して一年目の私自身、改めてその重責と社会福祉協議会が持つ社会的使命と役割について深く認識させられました。

大きな災害を被った私たちは、人と人とのつながりや地域社会での支え合い「絆」の大切さを実感しました。誰もが住み慣れたところで安心して暮らすことの出来る地域づくりのため、住民同士が共に支え合う仕組みづくりや様々な地域の福祉課題解決のため、地域の皆様と社会福祉協議会が一緒に考え取り組みを進めております。

本年も厳しい社会情勢、経済状況が続く事と思います。当協議会の果たす役割を役職員一同が再確認し、地域福祉サービスの構築に頑張って参る所存です。

今後とも、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げますと共に、ご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

### 七ヶ浜町社会福祉協議会 法人化30周年記念大会 大会宣言

少子高齢化や核家族化の進行、社会経済状況の低迷、東日本大震災からの生活復興など、地域福祉として解決しなければいけない課題が山積しているところであります。

このような社会背景のもとで、「身近な地域住民同士のつながり・ささえあい」「多様性を理解できる安心・安全な地域」を志し、誰もが住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるよう、すべての住民が地域の一員として、これから地域づくりと共に考え、参加し、手と手を取りあい、できることから始めていかなければなりません。

七ヶ浜町社会福祉協議会が法人化30周年を迎えるにあたり、参加者一同は、「誰もが安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくりの推進」を固く誓うものであります。

- 一つ 誰もが住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送れるよう、地域での福祉活動を拡充し、身近な地域住民同士で支え合う地域づくりを進めましょう。
- 一つ 次代を担う子どもたちが、よりよい環境のもとで健やかに育つことを願い、地域ぐるみで子育てを支援しましょう。
- 一つ 高齢者や障がいをもつ方が孤立することなく、一人ひとりの多様性を認めあい、社会の一員として理解され、共に暮らせる地域づくりを進めましょう。
- 一つ 地域活動やボランティア活動への積極的な参加を進め、手と手をとりあい、できることから始める地域づくりを進めましょう。
- 一つ 共同募金が、地域福祉の増進に果たす役割と使命を理解し、募金活動によって地域福祉への関心が一層高まるよう進めましょう。
- 一つ 東日本大震災によって被災された方々が、一日も早く生活の復興ができるよう、お互い様の心で接し、地域の一員として共に支えあう地域づくりを進めましょう。
- 一つ 次の災害に備えるために、東日本大震災の経験や教訓を記録に残し、次の世代や未災地へと伝承しましょう。

以上、ここに宣言します。

平成29年9月30日  
七ヶ浜町社会福祉協議会 法人化30周年記念大会

昭和62年に法人化して以来、住民の皆様と共に歩んできて30年が経ちました。詳しくは昨年発行した社協だより100号をご覧ください。

当日は受賞者・一般来場者・来賓合わせて、総勢350名もの方々にご参加いただきました。受賞者への賞状授与後に、大会宣言が読み上げられ、満場一致で賛同いただきました。左記にお示しいたします。

第2部に、女優であり心理カウンセラーでもあります、「大場久美子氏」をお招きし、『地域社会で輝いて生きるために役立つコミュニケーション』についてお話をいただきました。

変わらぬ美しさはもちろん、体操やゲーム、日常生活で起こりやすい出来事を交えたお話は大変分かりやすく、すぐにでも活かせそうなお話でした。



盛大に開催することができました!!

# 七ヶ浜町 生活支援体制 整備事業

## ～七ヶ浜の宝物②～

社協だより101号より連載をさせていただいております。  
日常的な何気ない取り組みの一つひとつが  
助け合いであります。支え合いであります。  
その一つひとつが「七ヶ浜の宝物」と言え  
ます。生活支援コーディネーター鈴木が  
新たに発見した「七ヶ浜町の宝物②」を  
ご紹介します！



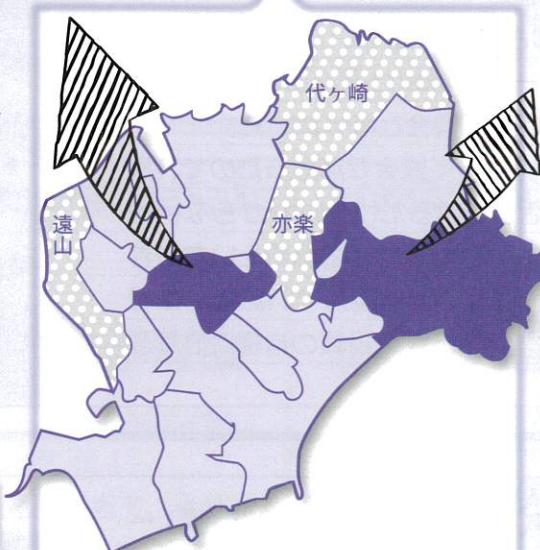
### 汐見台6丁目の皆さん! お気軽にどうぞ!

#### 【汐見台】汐見台6丁目 お茶飲みっこ会



「汐見台6丁目の皆さんが気軽に集まれる場所があるといいな。」その想いを実現してみようと集まった皆さんで立ち上げたお茶飲みっこ会。お楽しみタイムではレクリエーションを取り入れ、体操教室とのコラボ、趣味の活動のお披露目会などなど。多彩なサロン活動です。

地区で気軽に集まれる場所を目指し活動しています！是非皆さんも第一火曜日は汐見台第二分館へ！



七ヶ浜町



皆さん!  
知つてましたか?

担当：生活支援コーディネーター 鈴木  
電話：022-349-7781

### 笑う門には福来たる！！

#### 【花渕浜】まじゅらいん会 <通所型サービスB>



平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業のモデル地区としてまじゅらいん会が通所型サービスBとしてスタートしました。介護予防の

為の体操や閉じこもらない為のレクリエーションを行い、参加者が“チェックリスト該当者”の方60%以上いることが条件となります。

毎月3回木曜日を中心活動を行っており、災害公営住宅に住んでいる方や地区内で再建した方など交流の場として、おしゃべりや健康体操を通じて思いっきり笑ったり、ドキドキしたり、楽しい活動を続けて、年中笑顔が満開です！！



温かい善意に感謝いたします	
次の方々からご寄付をいただきました。	
（平成29年8月7日～平成29年11月1日）	
○匿名様（仙台市）	3,000円
○七ヶ浜町生涯学習フェスティバル ダンスパーティ部会	5,030円
○作新学院 院長 船田元様	200,000円
○匿名様（町内）	12,535円

# 町内小学校の防災学習の取り組み

## 汐見小学校 平成29年7月4日(火)

汐見小学校の4年生は、事前に授業で作成したまち歩き計画マップに基づいて、18グループに分かれて遠山・境山・汐見台地区のまち歩きを行いました。子どもの目線での登下校時における危険箇所の確認や、子ども110番の看板のあるお家、避難場所や避難所の確認を行いました。次の日に振り返りを行い、7月12日(水)にまち歩き発表会を行って、他のグループのまち歩きの成果を情報共有することができました。

まち歩きの当日の安全確認や、子どもたちにアドバイスをいただきました、汐見小学校支援ボランティアの皆様に心から感謝申し上げます。



学校支援  
ボランティア  
の協力

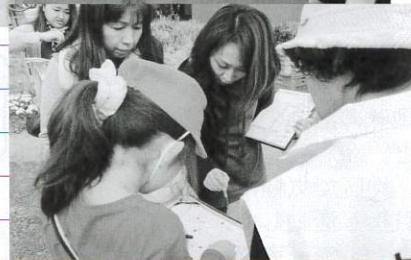


## 松ヶ浜小学校 平成29年11月8日(水)

今年は4学年PTA行事との共同授業として、防災マップづくりを行いました。特に防災11月8日に行われた防災まち歩きの日には多くの親御さんにあ越しいただき、子どもたちと一緒に震災のエピソードや地域に関するなど、地域の協力者から教えていただく機会となりました。

「子どもたちの通学路を一緒に歩く機会が無かったので、良い体験になった。」「日頃生活しているだけではわからない地域の事をいろいろと教えてもらえた。」などの感想をいただきました。防災学習のために、何度も足を運んでいただいた松ヶ浜小学校見守り隊の皆様、学年PTAの役員の皆様に心から感謝申し上げます。

PTAとの連携



## 亦楽小学校

平成29年10月3日(火)~

亦楽小学校は毎年5年生が防災マップづくりを行います。10月3日にまち歩き計画を作り、10月19日に防災まち歩き、10月20日に防災マップ作りが行われました。亦楽小学校は実際の下校時間に、9班に分かれて学校からスタートし、地域の皆様と共に解散ポイントを目指して歩きました。途中、危険箇所や避難場所等を見つけては写真を撮り、大人のコメントをいたしました。

次の日の20日には子どもたちが撮影した写真にコメントを書き込んで地図に貼り、防災マップを完成させました。11月22日には地域の方々にお越しいただき、3・4年生と一緒に発表会を聞いていただきました。4日間にわたって学区内の区長さんや民生委員さん、見守り隊のみなさんに参加していただき、心から感謝申し上げます。

実際の下校時間の体験





## 宮城県社協 主催 「福祉教育学習会」が開催されました！



日時：平成 29 年 11 月 6 日 場所：七ヶ浜国際村

七ヶ浜町では「東日本大震災後の防災学習」をキーワードに、町内5校がそれぞれに工夫して「防災学習」に取り組んでおります。その中でも下記の3校に代表してご登壇して発表いただきました。

**亦楽小学校**（登壇者：菅原先生）防災学習を取り入れる経緯から、防災科学技術研究所との連携についてご説明いただきました。

**松ヶ浜小学校**（登壇者：鹿野又先生）昨年防災マップづくりを行った5年生も一緒に登壇し、自分たちの作った防災マップを紹介していただきました。

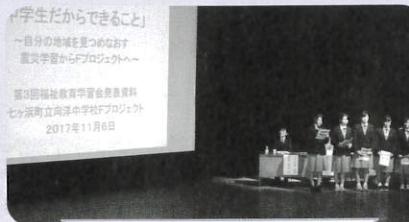
**向洋中学校**（登壇者：瀬成田先生）向洋中学生が自主的に行う地域復興ボランティアサークル「Fプロジェクト」の代表4名と共に、これまでの取り組みの成果と地域への思いを発表していただきました。

講師でありコーディネーターの野尻紀恵准教授（日本福祉大学）からは、「小学校でまち歩きで学んだ地域の事を中学校で更に深め、自分たちにできることをどんな小さなことでもやり続ける姿にとても感動した。」とのコメントをいただきました。

4ページにも掲載したように、子どもたちと地域が連携して、震災後の七ヶ浜町について一緒に学んでいます。より多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



野尻紀恵准教授（日本福祉大学）



向洋中Fプロジェクトの発表



発表を見つめる観客

## 七ヶ浜町身体障害者福祉協会からのお知らせ

### 第8回 七ヶ浜町 身体障害者福祉協会芋煮会

平成 29 年 11 月 18 日（土）に老人センターはまかぜにて芋煮会を開催しました！

今年は総勢 53 名を超える参加者で、各種団体のご協力により、たくさんの笑い声が聞かれました。今年は醤油ベースの山形風芋煮！美味しい芋煮を食べながら交流を図りました！



### 第23回 宮城県身体障害者 仙台地方連絡協議会体育大会

平成 29 年 8 月 2 日（水）、松島中学校体育館を会場に 8 市町村の身体障害者福祉協会による体育大会が開催されました。昨年の 5 位以上の成績を残そうと、大会前に参加者が集まり、汗をかきながら真剣に練習！努力の甲斐もむなしく、8 チーム中 5 位。なんと昨年度と同順位でした！参加された会員一同、来年こそは！と胸に熱いものを抱いていました。



# 更生保護女性会のご紹介



昭和39年オパール会として宮城県で結成されたボランティア団体です。更生保護女性会綱領に基づき、地域に根ざした活動をしております。七ヶ浜町内の現在の会員は41名です。

主な活動内容として

- 社会を明るくする運動（小中学校での挨拶運動・ティッシュ配り）
  - 矯正施設・授産施設等への協力視察、社会貢献活動への協力（更生しようと頑張っている子供達）
- 身近なところではあさひ園祭りへの協力・園生と一緒に箱折り作業や、塩釜神社の除草作業等があります。毎月定例会を開き、各地区の活動状況を把握し、次代を担う子供達の健全な育成に保護司、各種団体とも連携を密に活動しています。



「山形県更生保護女性会との交流会」



「山形刑務所前での集合写真」

## しちがはま レクリエーション協会 のご紹介

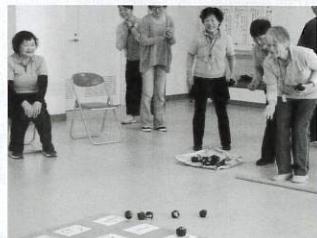
### 『地域に元気と笑顔を届けたい！』

結成から9年。会員数は31名。うち有資格者（レクリエーションインストラクター）が17名おります。

主な活動内容は、町主催の「介護予防教室」での運動支援や、地域で活躍する“健康づくり推進員”が企画する「地域行事」での運動講師。また、当会事業から始めた「運動未実施者自主活動」のスポ・レク指導を月に2回行っています。また、会員のボランティア活動として、社協主催の「土曜喫茶室」で軽運動やゲームなどをワイワイと楽しい時間を過ごしています。

その他に当協会主催の勉強会（一般参加歓迎です！）を年間5回。レクリエーション講習会を年1回。親睦を兼ねた移動研修会など、「自己研鑽」と「自分自身の健康と地域の元気づくり」のお手伝いができる人材育成にも力を入れています。どなたでも会員になることができます。興味のある方は是非お問合せください。

《問い合わせ》 しちがはまレクリエーション協会 会長 館岡百合子  
連絡先電話番号：080-1663-9327 年会費：2,000円



会員手作りのゲームに挑戦！



第5回例会での勉強会！

## 向洋中学校

### 職場 体験

11月15日（水）～11月17日（金）の3日間、七ヶ浜町社会福祉協議会で向洋中学校2年生の村上豪さんが職場体験学習を行いました。

短い期間ではありましたが、笑顔とあいさつが素晴らしい、愛嬌抜群のキャラクターで、すぐに職場にも打ち解け、任せられた仕事に一生懸命取り組む姿勢はとっても立派でした。

今後の活躍を期待しています！



向洋中2年生 村上 豪さん

新企画

# 男性が集まりたくなる講座好評です!

第1回目  
11/1

## スマートフォン・タブレット講座

講師:富士通株式会社東北支社



初心者から中級者まで様々  
お集まりいただきました。

1度だけでは覚えられない  
から、また開催して欲しいと  
の声が多く聞かれました！



第2回目  
11/14

## 美味しい コーヒーの淹れ方

講師:株式会社リュミヌー珈琲



自宅でコーヒーを楽しめている方も  
増えている中、厳選した豆を自家焙煎  
しているコーヒー専門店を経営されて  
いるご夫妻に教えてもらいました。  
「本物」の技と豆に終始「おいしい！」  
「すごい！」と感嘆の声が漏れてい  
ました。



# 「はまのおもちゃ病院」

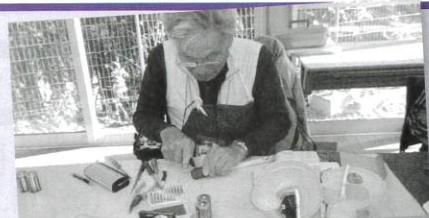
## 2月27日(火) プレオープンします！

子どもたちにとって大切な宝物のおもちゃ。  
こわれてしまった！捨てるのはちょっと待って !!  
おもちゃドクター（ボランティア）が原則無料で  
修理（治療）します。

平成29年12月に7名のボランティア（おも  
ちゃドクター養成講座修了者）でおもちゃ病  
院を立ち上げました。名称は「はまのおもちゃ  
病院」です。代表は加藤益弘さん（汐見台）  
です。今後は定期的に開院して行く予定です。

- ◆ 開院日：平成 30 年 2 月 27 日 (火)
- ◆ 時 間：10 時～12 時
- ◆ 会 場：七ヶ浜町子育て支援センター
- ◆ おもちゃドクター：7 ～ 10 名（全員ボランティア）
- ◆ 診療・治療できないもの：
  - ①メーカーの無償保証期間のもの
  - ②骨董品・アンティーク
  - ③モデルガン・刀剣類等

\*おもちゃは当日会場にお持ちください。  
\*当日修理できなかったものは、入院（お預かり）になります。  
●問合せ先：022-349-7781（七ヶ浜町社会福祉協議会）



第20回

～おかげさまで20年 ありがとうの気持ちをこめて～

# ふれあい広場 あさひ園祭り

日時：10月22日(日)  
場所：七ヶ浜町  
屋内運動場

ステージ



模擬店



もちまき



抽選会



お越しいただいたみなさん。  
そして運営にご協力いただきました  
多くのボランティアのみなさん。  
心から感謝申し上げます。  
これからもどうぞよろしく  
お願いいたします。

## ・災害公営住宅・高台移転地のある6地区情報交換会を行いました・

平成29年11月22日(水)七ヶ浜町中央公民館第1・2研修室を会場に、第2回見守り連絡協議会が開催され、6地区(松ヶ浜、菖蒲田浜、花渕浜、笹山、吉田浜、代ヶ崎浜)の区長や役員にご参加いただきました。平成26年から仮設住宅や高台移転の住民がいる6地区の見守り合い・支えあいの現状についての情報交換を行っております。

宮城県地域コミュニティ再生支援事業という、仮設住宅や高台移転の方が多い自治会(七ヶ浜町では6地区)が申請できる助成金についての説明会を同時開催し、宮城県地域復興支援課の桐生様にご説明をいただきました。こういった助成金も効果的に活用しながら、地域内のコミュニケーションを増やし、住民同士の気にかけ合い(見守り)が進んでいくことを願っております。

